

極域・寒冷域研究連絡会のご案内

極域・寒冷域研究連絡会より、2005年春季大会（東京）での開催内容のご案内をいたします。

日時：2005年5月18日（水）17：15～2時間程度

場所：山上会館大会議室（大会D会場）

話題：雪氷圏のモデリング

「気象庁全球モデル・領域モデルにおける現状の雪氷表現と今後の課題」

平井雅之（気象庁数値予報）

「GCMによる極域水循環」

保坂征宏（気象研究所）

「結合モデルCFESにおける雪氷圏の取り扱い」

小守信正（地球シミュレータ）

「季節海水域の特徴

～オホーツク海の海水観測から～」

豊田威信（北海道大学低温研究所）

今回の極域・寒冷域研究連絡会は、「雪氷圏のモデリング」と題しての特集を行います。大気海洋現象の予測や研究には、大循環モデルや領域モデルは、もはや不可欠のものとなっています。モデリングに際しては、積雲対流スキームなどに代表されるように、どうしても関心が熱帯に向かいがちですが、気象現象や気候の予測及び研究のためには、モデル内での雪氷圏の取り

扱いも重要であることは論を待ちません。そこで、気象庁現業モデルでの雪氷圏の取り扱い、GCMでの極域水循環、結合モデルでの雪氷圏の取り扱い、及び季節海水域のモデリングを行うにあたって重要となる観測事実などのテーマについて、様々な立場から雪氷圏のモデリングに関わる研究をなさっている4人の方々に講演していただきます

代表：山崎孝治（北海道大学地球環境科学研究科）

世話人：平沢尚彦（国立極地研究所）

中村 尚（東京大学理学部）

浮田甚郎（コロンビア大）

高田久美子（地球環境フロンティア研究センター）

阿部彩子（東京大学気候システム研究センター）

佐藤 薫（国立極地研究所）

本田明治（地球環境フロンティア研究センター）

齋藤冬樹（東京大学気候システム研究センター）

高谷康太郎（地球環境フロンティア研究センター）

問い合わせ先：

地球環境フロンティア研究センター 高谷康太郎

Tel：045-778-5526, Fax：045-778-5707

E-mail：takaya@jamstec.go.jp